

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月下旬開催
期末配当基準日	12月31日(中間配当金の支払いを行うときは6月30日)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(http://www.cac-holdings.com/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のトピックスをはじめ、
株主・投資家様向けに様々な情報をご案内しております。
ぜひご利用ください。

<http://www.cac-holdings.com/>

Top Page



IR Page



IRページを
リニューアルしました!

株式会社 CAC Holdings

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24-1 TEL.03-6667-8010(経営管理部)

文字の読みやすさ(視認性)を高めたユニバーサルデザインフォントを使用し、よりわかりやすいレイアウトにしています。



CAC通信

Fiscal Year 2015

2015年12月期 中間報告書
2015.1.1〜2015.6.30





グループ丸となって
業績向上に取り組めます。

代表取締役社長 酒匂 明彦

売上高は増加したものの、コスト増等により利益は大幅減少となりました。

2015年度第2四半期(1～6月)の売上高は、金融機関向けシステム構築サービスの好調や円安影響による海外子会社の売上高増を受け、前年同期比で増収となりました。

利益面は、海外子会社のAccel Frontline Limited (AFL) で原価・販管費が増加し、また、医薬品開発支援サービスにおける先行投資および新規案件獲得の遅れによる要員稼働率低下等でコストが拡大したため、大幅減少となりました。

利益面では計画を下回る業績となりましたが、中間配当金は計画どおり1株につき16円とさせていただきました。

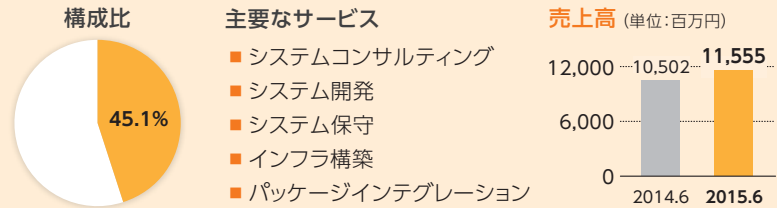
医薬品開発支援サービスおよびAFLについては下期

の回復を見込んでおり、また、金融機関を中心に顧客企業のIT投資意欲も継続しています。このようなことから通期業績予想は5月公表のものから変更をせず、グループ丸となって業績向上に取り組んでまいります。

四半期連結業績概況(1～6月)			(単位: 百万円)
	当第2四半期(2015年度)	対前年同期増減率(%)	
受注高	28,227	+17.4	
売上高	25,598	+4.1	
営業利益	450	△72.7	
経常利益	463	△69.6	
四半期純利益	740	△53.3	

サービス別売上高

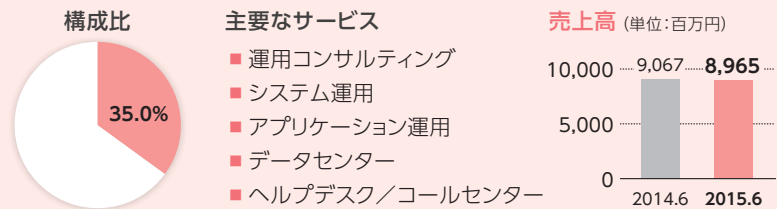
システム構築サービス



ポイント

金融機関向けが伸長したことにより、売上高は増加となりました。営業利益はAFLのコスト増や中期経営計画に基づいた投資の増加などにより、前年同期比38.7%減少の5億3百万円となりました。

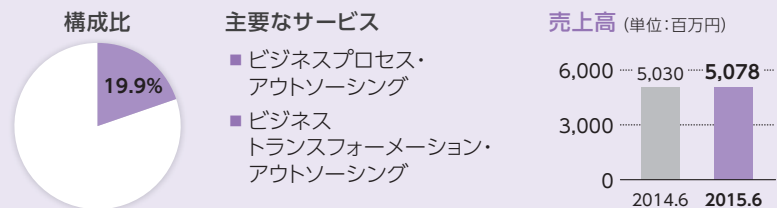
システム運用管理サービス



ポイント

国内主要顧客向けの売上高減少などにより、売上高は微減となりました。AFLのコスト増やCAC等の減益により、営業損失は24百万円(前年同期は営業利益2億83百万円)となりました。

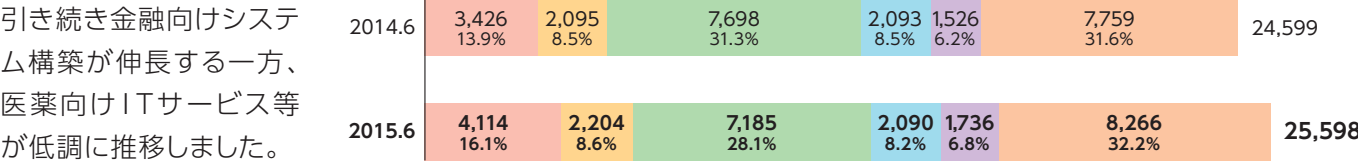
BPO/BTOサービス



ポイント

医薬品開発支援サービスの増加により売上高は微増となったものの、同サービスでのコスト増を受け、28百万円の営業損失(前年同期は営業利益5億47百万円)となりました。

業種別売上高



引き続き金融向けシステム構築が伸長する一方、医薬向けITサービス等が低調に推移しました。

エムアールナビ CAC、製薬企業向け営業支援システム「MR-Navi」を全面リニューアル

CACは、製薬企業のMR(医薬情報担当者)営業支援システム「MR-Navi」をこのたび全面リニューアルしました。

2014年の薬事法改正によって安全対策の一層の強化が実施されたほか、MR訪問時間を制限する医療施設が増加するなど、製薬企業とMRを取り巻く環境は大きく変化しており、MRは今まで以上に限られた時間の中で顧客である医療従事者に対し正確かつ的確に情報提供を行わねばなりません。

今回のリニューアルでは、マルチチャネル対応機能*を追加し、MRは顧客に対してこれまで以上に迅速な対応を取れるようになりました。また、多々ある情報のうち、優先度の高い情報をMRに通知し、次の行動への判断を促す機能や、パソコン、スマートフォン、タブレット端末などのマルチデバイス対応も追加しました。

これらによりMR業務のさらなる効率化や質の向上などが可能となり、当社グループの顧客である製薬企業への貢献が期待されます。

※マルチチャネル対応機能:医師向け会員サイトの閲覧状況や問合せ窓口への問合せ状況などMR以外の顧客接点情報を取り込み、MRへフィードバック、活動をリコメンドする機能



高遠計算機技術(蘇州)有限公司の新社屋が完成しました

当社グループの高遠計算機技術(蘇州)有限公司(以下、高遠)の新社屋が完成し、その記念式典となる竣工式が中国・蘇州にて2月に執り行われました。

この新社屋は、高遠が当社グループのグローバルデリバリーセンター*となるだけでなく、中国国内市場向けのシステム構築やソリューション提供が可能になるよう建設を進めてきたものです。地上5階建ての建物で、セキュリティ面の充実を図ったほか、広々としたオフィススペースや会議室、大きな食堂等も備えており、サービス品質向上や現地の優秀な人材確保などにつながると考えています。

記念式典は竣工のテープカットが大きな祝砲とともに行われ、打上花火も上がり盛大に行われました。

※グローバルデリバリーセンター:世界各地の顧客の拠点に対し、オフショア開発やアウトソーシングサービスを提供するセンター



WOMAN EXPO TOKYO 2015プレイベントのパネルディスカッション登壇

企業の成長力につながる女性活躍推進施策をテーマにした日本経済新聞社および日経BP社主催のパネルディスカッションで、取組みの先進企業として、CACの経営統括本部副本部長 兼 人事部長 小川 明子がパネリストとして登壇しました。

CACでは、経営戦略の一環としてワークスタイル変革に取り組んでおり、場所を問わずに業務を行うことが可能な「どこでもオフィス」を実現しています。パネルディスカッションでは、こうした取組み内容と、この取組みが女性に限った施策ではなく、男女問わず実施することによって女性の活躍を後押ししていく狙いについて紹介しました。

また、こうした自社の経験を生かし、企業のワークスタイル変革の取組みを支援するソリューション「フリキタス」を展開しており、今後はワークスタイル変革の推進を継続するとともに、ビジネスの拡大を図ってまいります。

■ CACのワークスタイル変革スペシャルサイトFrequitous.com(フリキタス ドットコム) <http://www.frequitous.com/>



国際色豊かな新入社員が入社しました

今年も4月1日に当社グループ(国内)でおよそ60名の新入社員が入社しました*。CACでは、22名中、10名が外国籍社員(国数は日本を含めて7カ国)となっています。

当社グループでは、海外を対象とした案件が増加している上、2014年度からAFLをグループ会社を迎え、日本以外を国籍とする社員が半数を超えました。そのため、ITサービスなどに関する知識はもちろん、グローバルな視野や文化的背景が異なる人々との協働の視点が重要となっています。

研修では様々な出身国の新人が集まったことから複数の言語が飛び交い、お互いを尊重しながら、それぞれの差異を認め合って課題を乗り越える姿が見られました。今後、当社グループビジネスのグローバル展開に貢献することを期待しています。

※海外グループ会社では新卒社員は秋入社が大半になります。



合宿研修は中国にて行いました。

▶▶ All in AZAREA 紹介

All in AZAREAは、今年度始めに発表した中期経営戦略(2015～2017年度)の基本フレームの1つです。

昨今、クラウドサービスの浸透や顧客のコスト削減意識の高まり等から、オーダーメイドで行う従来型のシステム開発・運用は縮小傾向にあります。また、顧客の要求や課題に対して、スピーディーにかつ高品質で対応することも今まで以上に求められています。

このような背景の中、CACではAZAREAを開発し、グループ各社での利用を始めています。AZAREAとは、システム開発や運用管理に使用する支援ツールで、顧客へのサービス提供に必要なプラットフォームとなっています。様々なシステムで汎用的に使う機能部分について、自動プログラミング等による開発や、効率的かつ高品質な管理をサポートします。

このAZAREAを活用することにより、コストの削減や生産性の向上が見込まれます。さらにシステム開発や運用管理におけるノウハウなどの知識をAZAREAに集約、蓄積し、サービス品質向上や次代への知識継承につなげていく構想が「All in AZAREA」です。

これにより、他社との差別化を実現し、競争力のある知識集約型企业となることを目指します。

AZAREA-Gene

▶▶ Webアプリケーションの開発支援ツール

AZAREA-Workflow

▶▶ ワークフローシステムの開発支援ツール

AZAREA-Cluster

▶▶ ビッグデータにも対応可能なバッチ処理*の作成支援ツール
※バッチ処理：一定の期間や量で集めたデータをまとめて一括処理する方法

CACTUS

▶▶ 各種管理支援ツール

その他各種ツール

AZAREA-XXXX

▶▶ 今後も必要なツールを開発予定

2015-17中期経営戦略概要

新主流技術の追求

BPO付加価値増大

All in AZAREA

アジア軸でのグローバル支援体制活用

新事業領域へのチャレンジ

グループ横断的戦略による企業力の強化

株式の状況・会社情報

▶▶ 株式の状況 (2015年6月30日現在)

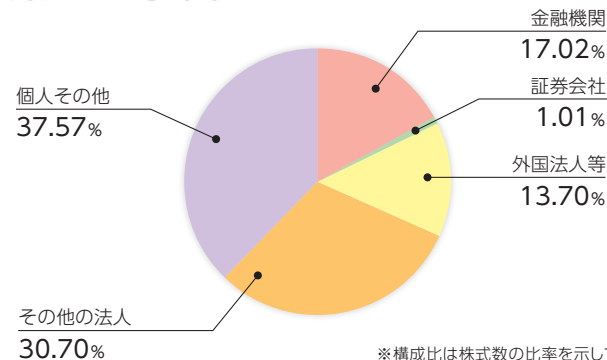
発行可能株式総数	86,284,000 株
発行済株式の総数	21,541,400 株
総株主の議決権の数	196,541 個
株主数	5,322 名

▶▶ 大株主

株主名	議決権数(個)	議決権比率(%)
株式会社小学館	35,122	17.87
アステラス製薬株式会社	10,777	5.48
キリンホールディングス株式会社	9,334	4.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,205	4.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,243	3.68
CAC社員持株会	6,833	3.47
株式会社三井住友銀行	4,840	2.46
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,872	1.97
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,025	1.53
東洋ゴム工業株式会社	2,890	1.47

(注)当社は、2015年6月30日現在、自己株式1,884,043株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

▶▶ 所有者別分布状況



※構成比は株式数の比率を示しております。

▶▶ 会社の概要 (2015年6月30日現在)

商号	株式会社CAC Holdings
英文社名	CAC Holdings Corporation
本社	東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 TEL.03-6667-8001(代表)
設立	1966年8月8日
資本金	37億204万円
従業員数	18名(グループ従業員数4,955名)

▶▶ 役員 (2015年6月30日現在)

取締役会長	島田 俊夫
代表取締役社長	酒匂 明彦
取締役	高橋 久
取締役	チェン・ビン
取締役	メヘタ・マルコム
社外取締役	花田 光世
社外取締役	松島 茂
社外取締役	廣瀬 通孝
社外取締役	黒田 由貴子
常勤監査役	松村 晶信
常勤監査役	大須賀 正之
社外監査役	藤谷 護人
社外監査役	石井 光太郎